



袋井市立袋井中学校だより



社会人としてのマナーを身につけ、主体的に行動する生徒の育成

— 自主・協同 —

～夢を追い続ける生徒の育成～

令和2年6月17日発行

新型コロナウイルス感染症への対応

袋井中学校では、学校再開後に「新型コロナウイルス感染症予防」に心掛けながら学校生活をすすめてきました。この度、袋井市教育委員会が「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」に示されている「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準において、現在のこの地域の感染レベルについて「レベル1」相当と考えられることから「新型コロナウイルス感染症に対応した袋井市学校教育ガイドライン」を一部変更しました。

本校としても、袋井市のガイドラインを基に、「基本的な考え方」を継続しながら、学習・部活動の対応を一部変更して学校生活をすすめていきます。

< 基本的な考え方 >

- すべての教育活動において、可能な限り「密閉」「密集」「密接」という3つの条件が同時に重なる場を避けます。
- 生徒及び教職員の毎朝の検温及び風邪症状（発熱、せき、のどの痛み、鼻水など）の確認を徹底します。風邪の症状が見られる場合は自宅で休養させてください。

『6月16日現在の対応』

（「5月18日現在の対応」「6月11日現在の対応」からの変更点）

< 学習について >

- 各教科等の指導にあたっては、以下の国が例示している「感染リスクが高い学習活動」についても、可能な限り感染症対策を行った上で実施可能とします。
 - ・各教科等に共通する活動として「児童生徒が長時間、密集又は近距離で対面形式となるグループワーク等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」
 - ・理科における「児童生徒同士が近距離で活動する実験や観察」
 - ・音楽科における「室内で児童生徒が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏」
 - ・美術における「児童生徒同士が近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動」
 - ・家庭科における「児童生徒同士が近距離で活動する調理実習」
 - ・保健体育科における「児童生徒が密集する運動」や「近距離で組み合ったり接触したりする運動」

< 部活動について >

- 部活動の実施にあたっては、可能な限り感染症対策を行った上で通常の活動を行うことを可能とします。
- 7月1日（水）以降、他校（原則磐周地区）との合同練習や対外試合を行うことを可能とします。
 - ・参加にあたっては、可能な限り感染症防止対策を講じ、安全面・健康面に十分配慮するとともに保護者の理解を得て行います。

今後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては、変更する必要があることを御承知おき願います。